

がん治療の新たな選択肢 ーがん免疫療法;チェックポイント阻害剤ー

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

- 13:00~13:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)
- 13:05~14:05 制御性 T 細胞とがん免疫療法
坂口 志文(大阪大学名誉教授 免疫学フロンティア研究センター特任教授)
- 14:05~14:10 休 憩
- 14:10~15:10 がん免疫チェックポイント阻害療法の開発と TR 研究について
北野 滋久(国立がん研究センター中央病院先端医療科)
- 15:10~15:15 休 憩
- 15:15~15:45 がん免疫チェックポイント療法の医療へのインパクト(将来展望)
山崎 直也(国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科長)
- 15:45~16:15 がん免疫チェックポイント阻害剤の将来の可能性をさぐる
嶋本 隆司(MSD 株式会社グローバル研究開発本部オンコロジーサイエンスユニット
統括部長)
- 16:15~16:20 休 憩
- 16:20~17:00 がん免疫チェックポイント阻害剤使用に当たっての適正使用徹底の重要性
大江 裕一郎(国立がん研究センター中央病院副院長(教育担当)・呼吸器内科長)

【日時および場所】

平成 28 年 10 月 18 日(火) 13:00~17:00

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下 2 階)

わが国が基礎研究段階から開発に大きく貢献したがん治療領域における化学療法剤の時代から、今日ではがん免疫療法の進展により、がんは進展抑制あるいは余命延長のみでなく治癒へと克服できる疾患となってきました。がん免疫療法には抗 PD-1 抗体、CAR-T 細胞療法から、Neoantigen を標的としたがん制御機構まで幾つかの選択肢があり、多くのがん種に対する効果も認められ、従来のがん治療の幅を大きく広げるものとして期待されています。

現在、世界中の製薬企業や医療機関などが、免疫チェックポイント阻害剤による単剤、あるいは他剤との併用などによるがん治療の可能性を求めて、その研究にしのぎを削っており、がん患者にとってはその治療の可能性の高まりに大きな期待が寄せられています。

一方、開発当初から想定されていたように、免疫チェックポイントを阻害することによる予期しない重篤な副作用も報告されており、適正な使用方法の徹底とともに、いかにして副作用をコントロールするか、また、有効性があらわれやすい患者を如何にして選び出すかなど、薬剤の医療上の有用性を高めるための研究も進められています。

医療への導入が始まってまだ日が浅いがん免疫チェックポイント阻害剤に関しては、開発から使用に至るまで、薬剤の有用性を高めるために解決しなければならない課題はまだ多く、関係する製薬企業、医療関係者、患者等それぞれに期待される役割は多いといえます。

このような観点より、がん治療に新たな突破口を拓いたがん免疫療法におけるチェックポイント阻害剤の開発、情報提供、使用等の各段階に現在又は将来関係される皆様方に、この種の薬剤についてより深くご理解いただくため、特にテーマを絞った研修会を企画しました。この趣旨にご賛同頂き多くの皆様方が参加されるようご案内申し上げます。

がん治療の新たな選択肢

ーがん免疫療法;チェックポイント阻害剤ー

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会
日本製薬工業協会
公益社団法人東京医薬品工業協会
大阪医薬品協会
日本OTC医薬品協会

日本ジェネリック製薬協会
米国研究製薬工業協会(PhRMA)
欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)
一般社団法人日本CRO協会

一般社団法人日本医薬品卸売業連合会
公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
公益財団法人MR認定センター
日本CSO協会

【申込要領】

1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- | | |
|--|---------|
| ・法人会員(法人会員は1口につき4名が会員扱い)／個人会員 | 12,000円 |
| ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者(開発・MA・PV分野対象) | 10,000円 |
| ・非会員 | 17,000円 |
| ・行政／アカデミア／医療機関／学生 | 5,000円 |

※受講者の方は、以下の書籍およびDVDを特別価格でご購入いただけます。申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

●映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD)

<新刊>日本の薬害事件(文部科学省特別選定作品)----- 88,500円
スモン事件(文部科学省特別選定作品)／クロロキン事件-----各 44,000円

- PVの概要とノウハウ ----- 7,400円
- 知っておきたい薬害の知識 ----- 1,700円
- 知っておきたい薬害の教訓 ----- 2,400円
- 日本の薬害事件(日英対訳版) ----- 9,300円
- 基礎から学ぶ医療経済評価 ----- 5,500円

- 日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント
第2版-----11,000円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
筋短縮症-----各 4,600円
サリドマイド／薬害エイズ事件／陣痛促進剤による被害／
薬害肝炎事件／ソリブジン事件-----各 7,400円

3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1単位

認定単位 **開発・MA・PV分野：2単位** が、付与されます。

4. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAXでの受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金をご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 個人会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

5. 問い合わせ先

一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。